

事例の区分

事業区分	砂防・治山・森林整備事業
配慮概要	間伐材を用いた景観並びに環境配慮

事業の概要

事業名	地域防災対策総合治山事業
実施場所	金沢市額町地内
事業主体	石川県（担当課：森林管理課）
実施期間	平成14年3月～平成14年10月
全体事業費	50,955千円
事業規模等	流路工長：85.6 m
事業概要	金沢市額町地内において、周辺景観並びに自然環境に配慮した工法として採用し、森林資源の持続的利用の観点から、間伐材等の利用の推進を目的に実施した。

環境配慮の内容

- ・ 施行地は主要地方道金沢鶴来線に近接し、かつ市道沿いであることから人の入り込みが多いため、環境になじみやすい間伐材を使用することにより、周辺景観への配慮を行った。
- ・ 流出する土石による流路工（かごマット）の鉄線摩耗を防止するために、流路工全面に自然還元材料である間伐材を使用し、自然環境への配慮を行った。
- ・ 流路工（かごマット）天端及び前面段差部に覆土を行うことにより、植生の早期侵入及び定着化を図った。

環境配慮の結果

- ・ 森林内に調和した景観を有している。
- ・ 間伐材を前面に設置することにより、表土の流出が防止されている。
- ・ 覆土により植生の早期侵入が図られている。
- ・ 早期植生導入により、クロアゲハやミヤマアカネ等の生物が確認されている。

今後の留意事項等

- ・ 経年変化により間伐材が腐朽した際の維持管理体制等を検討する必要がある。

